

令和5年12月8日

令和7年度からの「東日本学校吹奏楽大会」と  
「全日本小学生BFステージパフォーマンス(以下SP)部門」への  
対応について

東北吹奏楽連盟

1. 標記の2つの大会について、令和7年度実施に向けて東北吹奏楽連盟は以下のコンセプトで行います。
  - (1) 東日本学校吹奏楽大会を「小学生小編成バンドの最上位大会」と位置付け、「小学生小編成部門(30名以内)」を立ち上げて、「東北吹奏楽コンクール」で審査し、代表を決定します。
  - (2) 全日本小学生BFSP部門を「小学生バンドの最上位大会」と位置付け、「小学生の部(65名以内)」として「東北吹奏楽コンクール」で審査し、代表を決定します。

どちらの部門も「制限時間7分」「自由曲のみの演奏」とします。

2. 想定されるタイムスケジュール(今後変更の場合もあります)

令和7年

6月 各県吹奏楽コンクール予選参加申し込み完了

小学生団体は「小学生小編成の部」か「小学生の部」を選んでください。

※「小編成部門」に出場する場合の「中・高のような部員数上限の設定」については、協議中です。

7月3週まで 地区大会参加

8月1週まで 県大会参加(県代表3の内訳は参加団体数の比率など、各県独自に決定します)

9月第1週 東北大会では18団体を「小学小編成」「小学生」と連続して2部門を演奏するようにタイムテーブルを組みます。

「小学小編成」上位3団体を東日本大会へ推薦し、

「小学生」上位2団体を全日本小学生BFSPに推薦します。

3. 全日本マーチングコンテスト東北大会と全日本小学生BFマーチング部門は、従来通り体育館のフロアで開催し、名称を「第〇〇回東北マーチングコンテスト」とします。

4. 今後の変更点や検討事項など

- ① 大会規約を再整備します。現在の「東北吹奏楽コンクール規約」は「全日本吹奏楽コンクール予選部門」と「東日本学校吹奏楽大会予選部門」という2つの異なる大会の規約を一つにまとめたものですが、これに「全日本小学校バンドフェス

ティバル SP 予選部門」が加わりますので、3つの異なる大会の規約を一つにまとめることは極めて困難です。

そこで「東北吹奏楽コンクール規約」の中に3つの大会の規約をそれぞれ設定します。

- ② SP 部門での「電子楽器の使用」「マイクパフォーマンスの是非」などについては全日本吹奏楽連盟から「ステージ演奏上のルール」という通知の通り行います。
- ③ 東北吹奏楽コンクールへの各県からの小学生代表数「3」を、「2つの部門を合わせて4に増やすことは可能か」検討します。しかし、表彰式終了が20時ちかくなるので、慎重に進めます。
- ④ 審査内規についても検討を継続します。

今後、令和6年12月までに、規約等を整えるための協議を進めていくことを理事会で確認しました。